

バングラデシュ発

繊維製品総合物流サービスご案内

70年の繊維製品取扱実績が証明する
品質と信頼

輸入繊維製品に不可欠なQRに現行の物流は十分対応できていますか？
検品・手直しに至る輸入繊維製品に対するサポート体制に満足されていますか？

バングラデシュの特徴

契約の仲介役

バングラデシュには、「ハイングハウス」という契約の仲介役がいます。製造のアウトソーシングで、製造先の選定のほか、見積り、サンプルのやり取り、生産管理業務等を代行します。投資リスクはお客様側ですが、人件費や手間の削減のほか、製造実績に基づく様々な情報入手等にも有効です。

実績と将来性

人口約1億6千万人、45%が19歳以下。輸出額の約9割が繊維関連。国内に5,600社の縫製工場があり、最低賃金は中国の約6分の1、特惠関税も縫製1工程基準で適用可。日本向け輸出は数量で世界第3位等々。実績、将来性とも衣料品製造拠点として有望視されています。

物流基盤

輸出は工場側手配でブックイング船社毎に決めた保税上屋(複数から選択可)へ搬入、通関は工場側現地業者が行い、当社を含むフォワーダーはFOB以降の業務を担当。日系の検品・検針業者も進出済で、自社施設を保有し、大手GMSの認定を取得するところもあります。

10年に渡る現地実績のある日系フォワーダーとの協業による総合物流サービスをご提供！！

当社起用のメリット

① 取扱実績豊富な日系フォワーダーとの連携

経験豊富な日本人スタッフが駐在(現状は出張ベース)、日本向け繊維製品で10年に渡る取扱実績を持つ提携先と連携で、物流の手配、船積書類の確認、貨物情報の提供、検品業者ご紹介に至るまで、現地での繊維製品輸出に関する貴社物流のあらゆるニーズにお答えしていきます。

② ご契約までのお手伝い

本国にはハイングハウスという製造のアウトソーシングをお手伝いする業者がいます。活用次第では、製造工場の選定、見積り・サンプルのやり取り、生産管理業務等も代行が可能で、自社で不足するリソースを補い、「もの」創りの強力な助っ人となります。このような業者のご紹介も可能です。

③ 充実した国内物流サービス

繊維製品取扱いで70年に渡る経験と実績に基づき、通関、荷役、加工、配送等、あらゆる国内物流サービスでご満足いただけるサービスをご提供します。

④ 東南・南アジア地域でのネットワーク

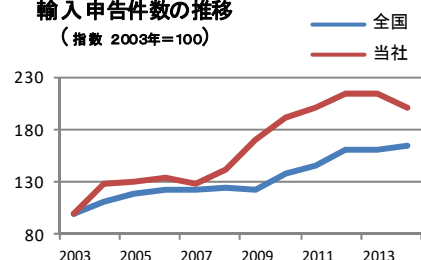
バングラデシュと同様、ベトナム、ミャンマー、カンボジア等の繊維製品の製造拠点となっている国々にも日本人スタッフが駐在、お客様の現地窓口として日本人の目線で、きめ細かな物流サービスをご提供しています。



⑤ 繊維製品での豊富な輸入取扱い実績

当社は、海外へ製造拠点が移転するなか、中国からの繊維製品の主要輸入港である大阪を中心に、その取扱いの約7割が繊維関連と、繊維に特化する形で、これまでお客様のQRに100%対応できる体制、サービスを構築してきました。暫8等を含め、月間数千件以上の通関実績のほか、自営による迅速な荷役、関東地方への入港翌日午前着の小口配送サービス、並びに倉庫併設の加工場での各種検品・加工業務等、様々な周辺サービスも充実させています。

輸入申告件数の推移
(指数 2003年=100)

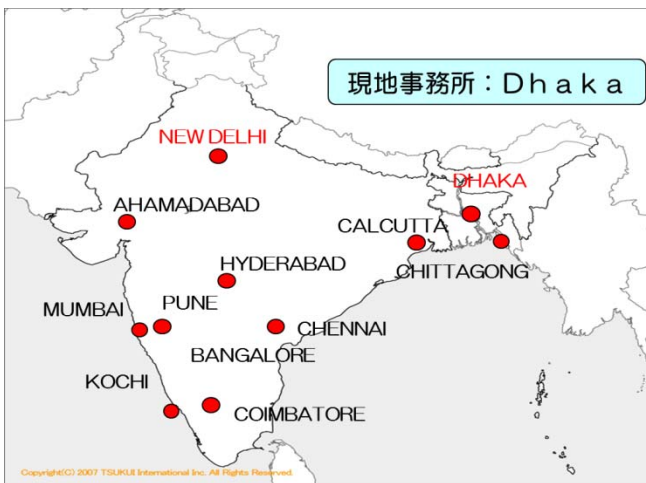


(参照)税関HP

基本サービスの概要



南アジア地区でのネットワーク



当社の生い立ち



綿布のプレス梱包作業状況

当社は、戦後日まだ浅い昭和22年8月15日、住友倉庫の梱包部門として設立されました。戦後の貿易再開で綿布輸出が急増、繊維製品梱包の最新設備を備えた専業者として「梱包から船積迄」の一貫サービスの提供を実現しました。

輸入繊維製品向けオプションサービス

| HDS | 加工 |
|---|--|
| HDS(Hot Delivery Service)の引受を通じて、これまでQRを実現するため培ってきた、緊急度に応じた3パターンの配送サービス、実績に裏付けられた通関体制、自営による柔軟な作業体制等、当社の強みを活かし、お客様に最適物流をご提供していきます。 | 港頭地区にある当社倉庫には加工場が併設しています。倉庫での荷役以降、輸入商品を横持ちすることなく、各種検品やミシン、アイロンがけにわたる補修や加工作業等をお引受けすることで、お客様のコスト低減と迅速な出荷のお手伝いをさせていただきます。 |

会社概要

- 社名……大阪梱包運輸株式会社
- 本社……大阪府大阪市港区海岸通3丁目2番2号
- 創業……1947年
- 資本金……1,800万円(全額(株)住友倉庫出資)
- 拠点……大阪、東京、神戸
- 従業員……70名
- 事業内容……一般港湾運送事業、倉庫業、通関業、貨物運送取扱事業

■ 問合せ先 大阪梱包運輸(株) 輸出入部
 担当: 林 Tel: 06-6571-1541 Fax: 06-6571-1503

東京支店
 担当: 清水 Tel: 03-5781-3533 Fax: 03-5781-3544